

共栄社

無人芝刈りで超省力

人手不足解消に大きな力



林社長

共栄社〓林秀訓社長、愛知県豊川市美幸町1-26〓は、バロネス無人芝刈機U L M 272の拡販に注力している。また昨年よりラフ用無人芝刈機もテスト販売しており、共にボタンを押すだけで、熟練スタッフの技術を再現し、超省力作業を可能にする。先頃開かれた「2025東北ターフフェス」では、バロネス無人芝刈機U L M 272などをPRした。

同社営業部治居義貴部長は、「今回の展示会で無人機が最大の注目を集め、来場者からも高評価を得た。高齢化・人手不足の課題を背景に、夜間稼働可能な無人機への関心が高まっており、導入を検討する顧客が増えている。当社のバロネス製品は『切れ味』と『持続性』に優れ、長時間の使用でも品質を保てる点が強みとされている。現在ではフェアウェイ用無人機に加え、『バロネスラフ用無人芝刈機U G M 170』や法面対応機の開



無人芝刈機U L M 272

発も進行中だ。将来的にはバンカーやグリーンの無人化も視野に入れている。無人化によって人員を削減するのではなく、作業の効率化と人材の有効活用を図り、コースの差別化に貢献したい。また6月に共栄社シバウラを子会社化し、多様な製品ラインナップと当社の強みを組み合わせ、今後はより幅広いニーズへの対応を目指す」と述べた。《バロネス無人芝刈機U L M 272》同機の大きな特長はティーチ・MAP方式の採用。通常作業と同様に人が機械に乗って作業を記録させれば誰でも高い技術を忠実に再現できる。走行経路、モアユニットのアップダウン、車速、エンジン回転数など、全てを記憶させられる。また、数種類の異なるデータを記憶させれば、コースコンディションに合わせた芝刈りができる。さらに複数のホールに渡る無人作業も可能。記憶した作業を再現するプレイバックの誤差は±1.5cm。夜間や霧などで見通しが悪い時でも条件を選ばず作業ができ、労働負荷の軽減、人手不足解消に貢献する。

またRTKシステムにより精度の高い位置測定が可能。LTE（携帯端末）回線を採用したことで、電子基準点からの大容量データを高速で受信することができ、精度の高い安定した走行が可能。

操作パネルは目で見て分かりやすい7インチのカラー液晶。イラストと文字で表示され、操作項目が一目で分かるタッチパネルタイプ。無人での走行・刈り込み・機械のセッティング、バックラッピングまで操作可能。バロネスリールカッターは切れ味の良さと高い耐久性を兼ね備え、連続して同じクオリティの刈り上がりを実現する。